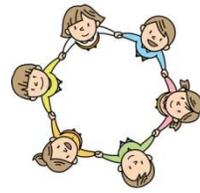


# 心の輪31R



『自由の意味』という資料を通して、  
『自由を守るために大切なこと』を考えました！



『自由』は『好きなことができる』  
など、自分たちにとって良いイメージ  
がある一方、『人によって言葉の受け取  
り方が違う』など、『自由』だからこそ  
の難しさがある。外部の圧力などに囚  
われない『真実を読みとる力』を養う  
ためにはどうすればいいのだろう？



私は、この授業を通して、『自由』は、その状況を取り巻く人みんな  
が、人の考えを受け入れることでできるものだと思います。これか  
らは、私も人の意見をたくさん取り入れていきます。

人にはそれぞれの考えや意見があるので、ぶつかり合うときもある  
けど、そのときは相手や色々な人の意見を聞いて、自分の意見と照ら  
し合わせてみようと思った。

自身の個性や表現を受け取る自由であり得ない敵をつくらないう  
に、相手の表現の自由や相手の考えを理解する努力が必要だと思う。

まず、一人一人が他の人の意見を認めてあげたら良いと思う。他の  
人の意見も自分の意見も大切だと思うからです。

人の意見をすぐに炎上させずに、一点の視点から見ずに、色々な視  
点から見つめて考え直すことが大切だと思う。

折角の表現の『自由』も、個人が弾圧するようであれば、それは『不  
自由』である。まずは、相手の意見を認め、じっくり考えた後に、自  
分の意見をまとめるのが一番の方法だと思う。

## 世界人権宣言 (抜粋)

【前文】  
人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、  
世界における自由、正義及び平和の基礎であるので… (以下略)

【第一条】  
すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、  
理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

【第二条】  
1 すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、  
財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この  
宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。(2以下略)

「……人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しな  
なければならない。」世界人権宣言、第一条の文言である。  
ここで述べられていることが達成できれば、どれだけ世の中が明るくなることだろう。  
近い将来、私たちが社会の担い手となる。差別や偏見を憎み、それを断固として許  
さないという強い思いを、自分の中に、そして社会全体に育てていきたい。



文部科学省資料  
『私たちの道徳』(P.161)より引用

『自由』といっても、制限が有り過ぎては、「自由がある」とは言え  
ないし、制限がなさ過ぎては、誰か自由ではない人が出てくる。自分  
の考えがあっても、まずは相手の意見を聞かなければいけない。

みんな違う考えを持ち、個性もあるから、捉え方はみんな違うと思  
うけど、いちいち言わなくていいと思う。まずは、相手の意見を認め、  
考えていることを想像すれば良いと思う。

人それぞれが豊かな心を持ち、人によってたくさんの意見や考え方  
があることを全員が知ることで、自由ができるのではないかと思う。

『本当の自由』が何かは分からないけど、自分がそれを理解してあ  
げる、分かってあげることで、その人がどのような意味で書いたのか、  
言ったのかがよく分かると思う。